



えいえい・おー！

賀茂幼稚園運動会

ふるさと納税10億円

2

決算単年度黒字7億円超

4

西伊豆消防署建設開始

17

10月1日(土)
賀茂幼稚園で、運動会が行われ、園児22名が元気いっぱい頑張りました。

議会だよりは、西伊豆町ホームページでも御覧になれます。

ふるさと納税

開催期間	9月5日から9月16日まで
審議した案件	町長提出 19件 (内 平成27年度各会計決算認定 6件)
可決した主な議案	一般会計補正予算(第3号)、一般会計補正予算(第4号) 国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 津波防災ステーション工事請負契約の締結 など

こんなことが、決まりました。

一般会計補正予算 (第3号) (全員賛成)

ふるさと応援寄付金(納税)を7億円追加して10億円、ドローン購入40万円や東部ドクターヘリ格納庫整備事業補助金227万2千円、年金生活者等支援臨時福祉給付金1,267万7千円(全額国費)など、総額11億9,500万円の増額補正となりました。

年金生活者等支援 臨時福祉給付金

問 実施時期と内容は。
答 実施時期は、10月からを予定しています。28年1月1日に町内に住民登録されている、住民税が非課税の方に、3千円を支給しま

す。また、この対象者のうち、障害基礎年金、遺族基礎年金等を受給されている方に、3万円を支給します。

ふるさと納税額の見込み

問 当初予算で控えめ過ぎたのではないかと。
答 歳入欠陥に陥らないように考慮しました。

臨時財政対策債

問 減額の理由は。
答 地方交付税で補てんされたことによります。

株黄金崎クリスタルパーク

問 解散による残余財産分配金の利用は。
答 検討中です。

ドローン購入

問 利用目的は。
答 防災や観光などでの利用を考えています。

貯水施設整備事業補助金

問 施設の建設場所は。
答 伊豆漁協仁科支所の荷捌場横です。

ドクターヘリ格納庫整備

問 事業のメリットは。
答 通常は順天堂病院の屋上に駐機していますが、荒天が予想される時は、名古屋まで移動し保管しています。近隣に格納庫を整備することで、利用開始までの時間が短縮されます。

10億円

ふるさと納税額が昨年と同額に迫る勢いなので、納税総額が10億円で補正されました。

約半分の5億円が地元産のふるさと産品などで返礼され、町内業者の売上げに貢献します。

国民健康保険特別会計 補正予算（第2号）

（全員賛成）

27年度の退職被保険者に係る療養給付費交付金の確定により、社会保険診療報酬支払基金へ、超過交付分の返還金を計上するものです。

介護保険事業特別会計 補正予算（第1号）

（全員賛成）

27年度の保険給付費等の確定により、社会保険診療報酬支払基金へ、超過交付分の返還金を計上するものです。

問 保険給付費が960万円増えているが、状況は。

答 デイサービス利用者が月に10名ほど伸びています。

津波防災ステーション工 事（田子地区）請負契約 締結（賛成9：反対1）

被制御所内機器と監視カメラなどの設置工事です。

問 モニターを監視する場所は。

答 井田子岸壁南側の被制御室です。町内全域を監視し、制御する操作室は、役場3階の予定です。

田子安良里線改修工事請 負契約締結（全員賛成）

持越トンネルの田子側、田子トンネル内、元のガソリンスタンド下から田子上交差点までの道路舗装工事です。

問 これで田子地区の舗装工事は完了するのか。

答 道路面の特に悪い箇所は完了します。

一般会計補正予算

（第4号）（全員賛成）

柵宜ノ畑地区の林道施設と治山施設の災害復旧工事は、国の災害査定の結果、より安全な工法に変更になったため、第2号補正予算で補正した額に、5,000万円を追加するものです。

第2回臨時会

平成28年8月3日

一般会計補正予算

（第2号）（全員賛成）

柵宜ノ畑地区の林道施設と治山施設の災害復旧工事に、1,100万円を追加するものです。

消防団第2分団詰所新築 工事請負契約締結

（賛成9：反対1）

津波浸水区域外に詰所を移転新築します。

工事費：1億5,768万円

完成日：29年3月3日

鉄骨造2階建て451.02㎡

問 太陽光発電設備と蓄電装置の設置目的は。

答 2階に避難スペースがあり、停電時の電源用です。

問 2階の避難可能人数は。

答 約100名です。

安良里診療所新築工事請 負契約締結（全員賛成）

津波浸水区域外に診療所を移転新築します。

工事費：1億1,826万円

完成日：29年3月3日

木造平屋建て273.27㎡

問 停電時の対策は。

答 発電機の受電盤を設置し、発電機を繋げて対応します。

問 電気・給排水衛生設備工事を、地元業者が施工できるように要請できないか。

答 今後の打合せの中で、請負業者に要請していきたいと思えます。

平成27年度

一般会計
特別会計
企業会計

決算を認定

一般会計の決算は、実質単年度収支7億5,185万5千円の黒字。

歳入においては、町税の減額や国庫支出金などの減はあるものの、ふるさと納税の大幅増や合併特例事業債の借入れ増などで、決算額は昨年比べて大幅に増加し、総額83億8,568万2,754円となりました。

歳出では、西伊豆町振興基金積立てによる諸支出金の増、ふるさと納税特産品費の増による総務費の増、消防団第3分団詰所建設による消防費の増などとなり、総額79億1,152万9,182円となりました。

27年度決算の差し引き残額は、4億7,415万3,572円になったものです。

一般会計 (賛成9：反対1)

問 地下売店使用料や駐車場占使用料など、以前から収入未済になっている。改善できないか。また、翌年度での入金ではなく、現年度の徴収はできないのか。

答 前年の未済分を払っていただいています。それに

よって当年分が未済になっているのが現状です。催促はしていますが、解決には至っていません。

問 26年度からZ会との連携による教育がされている。27年度からは町内全小学校の5年生で行われたが、仁科小は3年生も実施している。なぜ全小学校で実施していないのか。

答 Z会との連携は、あくまでも学校裁量予算で行っていますので、それぞれの学校で学力向上の計画を立てています。仁科小においては、3年生でもやってみたいということでした。他の小学校においては、その他の取り組みを行っています。

問 母子・父子家庭の医療費助成は、窓口で一度払い、数か月後に還付される。すくすく医療費のように窓口で支払わなくてもよいような制度にならないか。

答 過去に、県に要望をした経緯がありますが、県の回答では、補填事業のため、一度窓口でお支払いしてもらうということしか言えないとの回答でした。

(県条例等で、支払後の手続きとなっているため)



賀茂小学校の取り組みは

7億5,185万5千円 実質単年度黒字

問 浮島の町営住宅は、耐震性に問題がある。住民とはどのような話し合いをしているのか。また、災害時などでの心配は。

答 退去のお願いをしていますが、耐震性が無くても住みたいとの回答があり、現状のままになっています。瑕疵等の問題について、誓約書を頂こうと思っています。

国民健康保険特別会計 (全員賛成)

問 27年度の決算をする上で、現状の判断は。

答 基金は2億4,000万円程度残っていますが、加入者減、医療費増という状況ですので、厳しいのが現状です。

問 医療費通知を発送している。これによって医療にかかった自覚ができると思うが、効果は。

答 医療機関にかかった方に、年6回発送しています。こんなに医療費を使っているのかというふうに自覚していただければ、多重受診の抑制につながるのではないかと思います。

温泉事業会計 (全員賛成)

問 宇久須温泉の平均供給量は減少傾向だが、送湯パイプの詰まりなどの改善により増加するのか。

答 詰まりによる明確な数値は把握していませんが、一戸当たりの使用量は減少傾向です。詰まりの改善により送湯量は維持できますが、使用量は減少のままと思われます。

水道事業会計 (全員賛成)

問 一般会計からの繰入金、前年度と比べ、突出した詳細は。

答 消火栓1基につき972円

の管理費(総数519基分)を頂いています。26年度は未請求だったので、27年度に2年分の請求をしました。それと配水池耐震化設計委託の補助分です。

介護保険事業特別会計 (全員賛成)

問 高額介護サービス費が伸びている。この制度は、世帯内の上限額を超えた場合支給されるが、上限はいくらか。

答 年間所得によって上限額が変わります。住民税非課税世帯は24,600円、一般世帯は37,200円などです。

後期高齢者医療特別会計 (全員賛成)



第3分団詰所新築

監査委員からの提言

平成27年度 監査委員意見（抜粋）

監査委員 浅賀 和美・西島 繁樹

一 般 会 計

ガラス、陶器類の処分場での処分

再資源化できないガラス、陶器類約105 tが、焼却灰と一緒に処分場へ埋め立てされた。重量比で全処理量の約28%である。現時点ではこれが一番出費の少ない方法ではあるが、長期的に見れば処分場の延命を図るのが出費の最小化につながる。ガラス、陶器類の処分を外注した場合の費用の調査をお願いします。

間伐の促進

国の事業である「美しい森林づくり基盤整備交付金」と、県の事業である「しずおか林業再生プロジェクト推進事業費補助金」により、町内での間伐事業が推進されつつあるが、町有林等が遅れている。間伐の有効性は、誰でも承知していることであり、障害があるなら解消して長期的に取り組むことを提案する。

小学校の複式化

田子小は、現1年生が5名、2年生が8名であり、このまま推移すれば、29年度から複式になる。賀茂小は、現在の2歳児が少なく、33年度以降には複式になる。必ずしも複式がノーという訳でもないので、広範な意見の聴取が必要になる。



田子小学校



処分場に埋め立てられるガラス・陶器類

国民健康保険特別会計

制度改正

平成30年度から県単位の運営に移行することになっているが、まだその姿が見えてこない。町の業務として残る部分がわからないが、減少に見合う組織のスリム化はしなければならない。

介護保険事業特別会計

制度改正

平成29年度から要支援の訪問・通所介護サービス料金を町が決めなければならない。ボランティアの活用により負担を軽減している市町村もあると聞く。報酬水準を下げるのか、現状維持するのか、難しい判断を迫られると推測する。

水道事業会計

当町では、人口の継続的減少傾向が進行中であり、観光業も長引く景気低迷や事業所の廃業が続いている。水需要の減少は今後も継続するものと推測され、それを踏まえて経営に当たらなければならない。

議案の議決結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠 退場…退

会議名	審議した議案と主な内容 (議案名はわかりやすく変更しています)	山本智之	芹澤孝	高橋敬治	加藤勇	山田昭男	山田厚司	西島繁樹	星野淨晋	堤和夫	山本栄	増山勇	議決結果
第2回臨時会	28年度 消防団第2分団詰所新築工事請負契約の締結 [契約金額1億5,768万円]	○	○	×	○	○	○	○	○	-	○	○	可決
	28年度 安良里診療所新築工事請負契約の締結 [契約金額1億1,826万円]	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決
	28年度 一般会計補正予算(第2号) [1,100万円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決
9月例会	28年度 津波防災ステーション工事(田子地区)請負契約の締結 [契約金額6,631万2千円]	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	可決
	28年度 (町)田子安良里線改修工事請負契約の締結 [契約金額6,080万4千円]	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決
	【介護保険】指定地域密着型サービスの事業基準に関する条例の一部を改正 [介護保険法及び厚生労働省令の改正に伴うもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決
	【介護保険】地域密着型介護予防サービス等の事業基準に関する条例の一部を改正 [介護保険法、厚生労働省令の改正に伴うもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決
	28年度 一般会計補正予算(第3号) [11億9,500万円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決
	28年度 国民健康保険特別会計補正予算(第2号) [605万円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決
	28年度 介護保険事業特別会計補正予算(第1号) [2,188万1千円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決
	28年度 一般会計補正予算(第4号) [5,000万円を増額するもの]	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	可決
	27年度 一般会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	×	認定
	27年度 国民健康保険特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	認定
	27年度 後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	認定
27年度 介護保険事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	認定	
27年度 水道事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	認定	
27年度 温泉事業会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	認定	

議長(堤和夫)は採決に加わりません。



加藤 勇 議員

安良里灯台存続は

(町長) 要望活動が必要

質問 安良里漁港には、1隻の大型漁船、100隻を超える小型漁船が登録され、日々の漁業活動を行っている。港内には大型船舶の修理ドックなどもあり、多くの一般船舶も港を利用している。船舶の安全航行に灯台の役割は重要であると考えます。今後、国の方針により安良里灯台が廃止・撤去になるとのことですが、存続のための対策は。

町長 灯台の存続ができるよう、計画見直しの要望書を、海上保安庁に提出しました。

質問 存続のための要望活動は。

町長 灯台を必要とするのは関係漁民などであり、漁協が主体となり、町への相談や、国への要望活動を行うことが必要と考えます。

質問 廃止された場合、払い下げを受けることは可能か。

産業建設課長 航路標識としての役目を持つことは出来ませんが、本体のみを払い下げることが可能と聞いて

います。

質問 網屋崎は安良里地区に残された観光資源と考えるが、灯台を観光資源として活用する考えは。

町長 観光資源としては考えていませんでした。今後、網屋崎公園整備のときに活用できるのか考えていきたいと思えます。存続させるには、維持管理費などの負担を、検討する必要があります。

平坦地に残土処分場を

確保も必要

質問 現在の残土処分場の処分量と利用可能年数は。

町長 処分量は89,000m³で、約30年間利用可能です。

質問 平坦地から遠い場所にあるが、作業効率の向上や事業費縮減のため、平坦地に処分場の確保が必要では。

町長 必要とは考えています。個人から提供の申し出があれば考えたいです。

質問 個人所有地を活用するための問題は。

町長 境界確定や隣地の承諾・環境アセスメントなどが必要になり、費用対効果も検討が必要です。



残そう安良里灯台

住宅関連助成の再検討を

(町長) 今までどおり耐震補強で



増山 勇 議員

質問 地元経済の状況は、大変厳しいものがあります。以前、町長は「住宅リフォームや太陽光発電の助成を今後検討していかねばならないと思っている」と答弁していたが、検討した結果は。

町長 今までどおり、耐震補強助成制度を重点的に行っていきたく考えています。

質問 耐震補強助成の実績は、22年度から27年度で、12件しかない。もっと効果を上げるには、さらなる助成金の引き上げが必要と考えるが。

町長 助成金の引き上げではなく、住民の方々が耐震に関して、もっと関心をもってもらえるよう努力します。

質問 町は地元の住宅関連業者の仕事を増やそうという意気込みが必要。住宅リフォーム助成等が呼び水になり、経済の好転につながるのでは。

町長 業者さんの話を伺うと、町はよくやってくれている

という評価を頂いています。一つ一つの分野での支援や助成ではなく、町全体を考えて施策を講じていきます。

公共施設等の統廃合は

具体的には今後

質問 公共施設等の統廃合は、今年度策定予定の公共施設等総合管理計画で、具体的に示されるのか。

総務課長 この管理計画は、公共施設の状況把握が主となります。具体的な統廃合については、各委員会等で審議されるものであり、今

後の検討となります。

就学援助対象者は

増加

質問 就学援助対象者は。

町長 27年度は小学生10人、中学生10人で、28年度は小学生13人、中学生16人です。

質問 今年3月、保護者に対し、制度を周知する文書を配布したが、その影響はあったのか。

教育委員会事務局長 配布した影響があったのかは、わかりませんが、対象者は増加しました。



今後、統廃合はされるのか？



星野 淨 晋 議員

有害鳥獣駆除に協力隊を

(町長) 検討したい

質問 山林荒廃によって、イノシシ・シカによる被害が増加している。猟友会の方々も年齢が上がっており、新規会員を募ることも難しい。ハンティングツアーや、有害鳥獣駆除を目的とした地域おこし協力隊を募るなど、現状と違った対応が必要と思うが。

町長 ハンティングツアーの受け入れは可能です。しかし、実際行うには諸問題があります。地域おこし協力隊は検討したいと思います。

質問 諸問題とは。

町長 誰が対応するか・銃弾の購入・許可証・事故防止などです。

町有林の間伐は

12ha実施予定

質問 山林所有者が、自ら山の手入れを行うのがベストであるが、木材価格や切り出し経費などを考えると難しいのが現状です。県の間伐施策を利用し、所有者に

積極的に働き掛けては。

町長 林業事業者を通じて働き掛けをしています。

質問 働き掛けの実績は。

町長 10件の山林所有者に働き掛けをし、7件の方が間伐を行っています。

質問 町有林の現状は。

町長 面積は1,605haです。今年度12haの実施を予定しています。

質問 1年間で12haでは、100年たっても町有林の間伐が一巡しない。せめて年間30haぐらいは行う必要があると思うが。

町長 間伐面積を広げたいの

はやまやまですが、諸問題もあります。また、林業事業者の規模も小さく、処理できる面積に限りもあります。

トイレが足りない

順次検討

質問 海水浴場の施設に過不足があるが。

町長 最小限の整備はしています。

質問 明らかにトイレの数が足りていないところもある。仮設で対応できないか。

町長 順次検討します。



整備された山林

占用申請書を出させる指導を

(町長) 許可が出せない場所です



山田昭男 議員

質問 伊豆漁協田子支所荷捌所（魚市場）前付近を業者が用具などを置いて営業しているが、占用許可を受けているのか。

町長 許可を受けていません。

質問 その後の経過は。

町長 漁協と業者と町で話を進めてきましたが、最近「漁協に迷惑にならない所に移転してもらえるか」で、話が進んでいると、報告を受けています。

質問 漁港管理条例に沿って、業者に占用申請書を出させる指導をしては。

町長 ご指摘の所は許可が出せない場所です。漁協に協力していただいて、占用できる場所に移ってください、という指導をしています。

質問 占用できない場所を使っているのは大きな問題である。期限を決めて結果を出すべきではないのか。

町長 解決したいが、すぐに結果が出ないことも理解していただきたいです。ただ、町が指導できないのは、私

の不徳の致すところ です。

質問 条例を守っている人に不公平ではないのか。

町長 そのとおりですが、町内には同様な箇所が多数あります。白黒付けると不便になるのではとの思いがあり、できませんでした。

質問 昨年、町管理の河川で大きな事故が発生した。漁港で事故を起こしてはならない。答弁を聞くと前進しているとは思えない。先延ばしにしないでほしい。

町長 いろいろなことを勘案して進めています。山田議員も言うだけでなく、私

ちと一緒に業者と漁協に同行してもらいたいが。

山田議員 それは、私がやることではなく、管理者である町長がやるべき仕事です。

分断された公道の復旧は

階段工の準備をしています

質問 網屋崎道路工事によって段差ができ、公道が分断されて官地に行くことができない。復旧すべきではないか。

町長 公道が分断されている部分に、階段工の設置を準備しています。



伊豆漁協田子支所荷捌所（魚市場）前付近



山本智之 議員

地区防災計画の作成は

(町長) まずは連合区単位で

質問 地震・津波災害だけでなく水害・土砂災害も想定した「地区防災計画」を作成したいとのことだが、計画作成の区割りは。

町長 自主防災ごとが良いと思いますが、まずは連合区単位で作成する予定です。

質問 今後の進め方は。

町長 過去の災害の歴史や経験を基に、地区の方々と話し合いながら進めます。

質問 取りまとめの時期は。

町長 できれば、河川のハザードマップを含めたものにしていきたいなど、時間の掛かることなので作成時期の想定はしていません。

質問 河川のハザードマップ作成の進捗状況は。

企画防災課長 仁科川はシミュレーションデータがそろいましたが、宇久須川についてはこれからです。

質問 ハザードマップに避難地情報を入れるのか。

企画防災課長 どのような情報を入れて作成するかは、今後検討します。

適応指導教室の体制は

指導員を2名採用

質問 適応指導教室の指導員体制は。

教育委員会事務局長 2名の採用です。教員免許と学校実績を有し、不登校訪問支援カウンセラーの資格を持った方が、1名常駐します。

質問 入室の対象基準は。

教育委員会事務局長 無理して登校しているケースも含め、学校側と情報共有し、申し出があった児童・生徒が対象です。

質問 中学校卒業時の進路指導は。

町長 生徒の考えを最優先に、保護者・学校・行政の連係でサポートしていきます。

斎場建設の方向性は

できれば単独で

質問 斎場建設の方向性は。

町長 できれば単独でやりたいですが、松崎町との共同設置も考えています。また、伊豆斎場の建て替えに伴う組合の協議に、担当課がオブザーバーとして出席していきます。



待たれる河川ハザードマップと地区防災計画の作成

乳児の紙おむつ支給は

(町長) 考えていません



芹澤 孝 議員

質問 若い世代にとっては、乳児の紙おむつ代もかなりの負担になっている。当町は所得水準が低いので経済的負担を減らすため、子育て世代の支援として、乳児の紙おむつ支給は考えられないか。

町長 子育て支援全体を考えた場合、予算があるので何もかもはできません。西伊豆町のように所得水準の低い町で、子育て世代の経済的負担を減らすには何が最も効果があるか考えた時、保育料・給食費の無償化でした。今は新たな支援は考えていません。

質問 就園児の保育料・給食費は無償になったが、未就園児の一時預かり保育は有料である。昨年度徴収保育料は僅か76,700円で、職員費用分にもならなかった。無償にはできないのか。

町長 時間は掛かるとは思いますが、やらなければならないことであれば、やっていきたいと思えます。

通年型観光の改善は

業界主導で

質問 現在、各団体に補助しているが、通年型観光（一年中できる観光）の改善が見えない。全国レベルで通年型観光を募集して、その団体なり、個人に支援をしてはどうか。

町長 業者は何が必要か真剣に考え、それについて町のフォローを考えなければなりません。町と業界が一体となって考えなければなりません、業界主

導でやっていただきたいと考えています。

質問 当町への来訪者数は、東日本大震災の23年を最低とし、その前年の水準にまだ回復していない状況である。韮山反射炉の例があるように、伊豆地区の通年型観光のカンフル剤となるのはジオパーク認定だと思うが、認定に備えて戦略は検討しているのか。

町長 具体的なことは、出てきていませんが、どのようにするか、役場内での話し合いはしています。



ジオパーク認定を観光のカンフル剤に



高橋 敬治 議員

斎場建設安城岬案は

(町長) 進んでいません

質問 大浜区から提案のあった安城岬案の進捗状況は。

町長 沢田、浜区の同意が得られたという報告は無く、進んでいません。

質問 名勝「伊豆西南海岸」での安城岬の地区種別は。区分の変更は可能なのか。

教育委員会事務局長 第二種地区です。少し緩やかですが、公園にした申請を再度変更するのは難しいです。

質問 建設準備委員会で候補に挙げた場所を公表し、その地元や関係者に検討してもらおう時期ではないか。

町長 場所が限定してしまう恐れがあるので、白紙の状態、皆さんからの提案をいただきたいと思います。

質問 松崎町長とは時々話しているようだが、担当者レベルでも進めたらどうか。

町長 ある程度アウトラインが出来てから、課長に指示したいと思います。

質問 なんとか町内、少なくとも松崎町にと思うが。

町長 私も望むところです。

診療所の停電対策は

発動発電機で

質問 診療所の停電対策は。

健康増進課長 発動発電機で対応します。田子にはありませんが、安良里には発電機接続盤を設置します。

質問 安良里は、消防団第2分団詰所と同一受電すれば、太陽光発電・蓄電設備を非常用電源として使用できる可能性があったと思うが、その検討はしたのか。

企画防災課長 同一受電の検討はしていません。

津波避難タワー建設は

計画はありません

質問 避難困難者のために、近隣市町では津波避難タワーの建設が行われているが、町の対応は。

町長 津波避難タワーの計画も要望もありません。命山を作りたいと進めています。

質問 津波避難路整備がトーンダウンしているが。

町長 ある程度整備は進んでいます。浸水深に余裕ある建物が近くにあれば、整備は必要ないと考えています。



松崎町津波避難タワー

議会の動き

町の運営には最低でも39億が必要

第1 常任委員会は、7月19日に企画防災課、8月3日に総務課の所管事務調査を実施しました。

企画防災課では、移住定住の取り組みの報告を受け、質疑しました。現在町では、移住定住したいと考えている方への説明会や、民家を改装したお試し移住という制度を行っています。多くの方々が西伊豆の素晴らしさを体験し、住みたいと思っていただけるようなまちづくりも、必要と感じました。

総務課では、予算の立て方や国・県から来る交付税の仕組みや、申請から交付までの流れなどを重点に報告を受け、質疑しました。西伊豆町は、今と同じサービスを維持しながら運営していくためには（新規事業をせず）、約39億円が必要になるとの試算も示されました。近年、ふるさと納税を多く頂いているので、予算規模は膨らんでいますが、町村合併したことによって頂いていた、合併特例交付金が今後減額されてゆき、5年後には約4億円の収入が見込めなくなるため、今まで以上に厳しい財政状況になることが予想されます。

第1 常任委員長 星野 浄晋



お試し住宅（仁科地区）

県下トップクラスの収入率を維持



喫緊の課題、新斎場建設

第2 常任委員会は、7月19日に窓口税務課、環境福祉課の所管事務調査を実施しました。

窓口税務課では、27年度決算見込みの町税・国民健康保険税・介護保険料の収納状況、滞納処分の報告を受け、質疑しました。西伊豆町は、27年度も高額滞納案件の整理が進み、個人住民税の収入率は引き続き県内第1位であり、国民健康保険税、介護保険料の収入率もトップクラスです。このことは日々の徴収業務の成果で、今後も維持することを期待します。

環境福祉課では、災害対策基本法の改正に伴い、作成が義務付けられた避難行動要支援者名簿の現況と、避難行動支援に関する取組指針の概要の報告を受け、質疑しました。個人情報保護の観点から、名簿を支援者等へ提供するには、本人の同意が必要です。この作業において名簿作成が順調に進まない状況があるようですが、根気よく続ける努力が必要と感じました。

また、建て替え問題が喫緊の課題とされてきた西伊豆町斎場の視察を行い、早急に新斎場建設の必要性を改めて共有しました。

第2 常任委員長 山田 厚司

水道料金の統一

第2常任委員会は、8月3日に企業課の所管事務調査を実施しました。今後の見通しについては、水道事業会計・温泉事業会計の収入予測や施設改修予定、各料金の徴収実績、滞納整理について報告を受け、質疑しました。合併当時から懸案事項である水道料金の統一（旧西伊豆町・旧賀茂村）については、いろいろな問題があり、検討中との報告でした。



改修が進む赤池山配水池（安良里地区）

市川三郷町と初めての議員交流会

議会では8月7日、8日の日程で、新たに姉妹町提携を結んだ市川三郷町と、初めての議員交流会を開催しました。

7日は議員交流会の後、「神明の花火大会」を見学、「一色青友会」の手筒花火の披露もあり、親睦を深めました。8日は観光施設などを視察、これからも行き来しながら友好を深めていきます。



市川三郷町議会議員交流会

人口減少社会の地域経済活性化策は



静岡市町議会議員研修会

議会では8月18日、静岡市町議会議員研修会で、ジャーナリストの三神万里子氏による「人口減少社会における地域経済の活性化策」と題した講演を聴講しました。

2010年国勢調査を基にした資料で、05年対比の人口増減率が示され、伊豆エリア・川根本町が5～10%超の減少幅となり、会場がどよめきながらの始まりでした。

人口減少対策としては、出生率の回復が必要であり、スピード回復をした広島県三好市青河町の事例をあげ、

- ◎人口500人の地域に約5年間で子育て世帯が14家族移住、結果として出生率は2.28になった。
- ◎地域住民が自ら出資して住宅開発会社を設立し、若者世代限定で格安の賃貸住宅を斡旋。
- ◎家の垣根や壁をなくし、子どもがどこにいるか見えるようにした。
- ◎入居者が新築する時は、開発会社が銀行の信用保証になることなどを行い、定住促進に繋がった。

など、都会でなくとも取り組みによって人口は増やせるという事例を紹介されました。

交通インフラなどが脆弱な地域では、若年層の収入増になる仕掛けや、若者移住定住促進のために、独自の対策を打ち、地方ならではの魅力による活性化や、移住定住に繋げていく施策が必要になっていくと感じました。

第2常任委員長 山田 厚司

一部事務組合からの報告

西伊豆消防署建設工事始まる



西伊豆消防署安全祈願祭

西伊豆消防署は、海拔2.5mと津波浸水域内にあり、震災時に救急業務が機能しなくなるのではないかと危惧されていました。また、同署は昭和49年に建てられ、築42年と老朽化が進むなど建て替えが検討されてきました。そこで、浸水域外にある西伊豆町中地内の土地を建設用地として町が購入し、下田地区消防組合（1市4町で構成）に無償貸与し、建設は同組合が行います。

28年9月12日、西伊豆消防署建設工事安全祈願祭が行われ、完成は、29年3月の予定です。

管轄は西伊豆町と松崎町で、従来どおりです。なお、完成すると旧消防署は解体されます。

【施設の概要】

敷地面積：1,907㎡、建築面積：764㎡、
延床面積：1,239㎡（1階759㎡、2階480㎡）、
訓練塔延床面積：A塔100㎡、B塔61㎡

【設備概要】

事務室、会議室、救急消毒室、仮眠室、車庫、
自家用発電、太陽光発電設備、ほか

【事業費（関連予算）】…約6億1,100万円

組合議会議員 山田 昭男

旧共立湊病院跡地は

南伊豆町湊地区にある旧共立湊病院は、24年5月に下田メディカルセンターと名称を変え、下田市内に新設移転し、以降、土地を含め、活用予定のない遊休財産が残っています。

この土地に、南伊豆町が「サービス付き高齢者向け住宅（100戸）」の建設を計画し、土地と建物を含め、買い受けの申し入れがありました。

組合運営会議（下田市・賀茂郡5町首長で構成）では、申し入れを受け、財産処分をすることとし、

売り渡し敷地面積：44,349.21㎡

売り渡し金額：5億6,842万6千円

この金額のうち、病院施設解体・撤去費用3億1,640万2千円と、組合が運営している「介護老人施設なぎさ園」、「付属みなとクリニック」の敷地賃貸料9,200万円が差し引かれ、実質1億6,002万4千円が一部事務組合の資産となる案が示されました。

しかし、旧共立湊病院の開設時（平成9年）に、施設改修に国県の補助金が充当されており、売払いをすると補助金の返還義務が生じるため、資産の減額が想定されます。

組合議会議員 加藤 勇



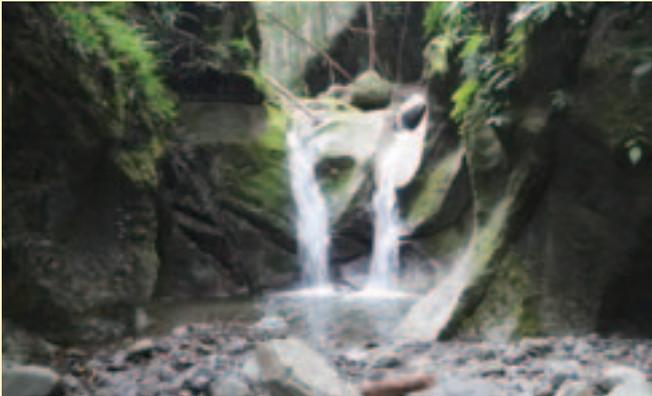
旧共立湊病院

わが町のジオサイト

<地殻変動による急傾斜>

宝蔵院西

一色林道を15分ほど歩いて行くと、細かい縞々がはっきり見える地層が見られます。これは、噴火によって積もった火山灰が海底でなだれを起こし、更に深い所へと流れ下ってできたものです。しっかりと斜めに立ち上がっています。



林道からさらに山に入ると、二重滝にたどり着きます。落差6mほどの滝ですが、周りは約1500万年前の古い地層で、長い間に及ぶ地熱や温泉水の影響で変質し、緑色になっています。この辺りでは、南の海にいた証拠が入ったカイガラ石灰岩という石が転がっていることがあります。

町内探訪 20

ななつぼし



リーダー 浅賀まゆみさん
と仲間たち (宇久須)

12月に中央公民館で「ななつぼしおはなし会」を開催予定のななつぼしリーダーの浅賀まゆみさんにお話を伺いました。

質問 「ななつぼしおはなし会」を始めたきっかけは。

浅賀さん 平成10年に宇久須幼稚園PTAが、読み聞かせで影絵を行ったところ、先生方から“1回きりではもったいない”と言われて…それから年1回、今年で19回目になります。

質問 メンバーは。

浅賀さん 当初メンバーがほとんど残ってくれていて、現在女性ばかりで15名ほどです。

質問 長く続いている秘訣は。

浅賀さん 毎回来てくれる方々から“段々上手になるね”と言われるのが嬉しいのもありますが、やっぱりみんな好きだからでしょう

ね。とりあえず20回を目指していますが、今後に繋げるために、若い人の入会があればと思います。

質問 おはなし会以外でも活動をされているようですが。

浅賀さん 読書週間に、町内外を問わず、幼稚園・小学校・デイサービスなどでもやっています。年1回の講演では、2か月くらい前から練習を始め、台本、衣装、小道具などすべて自前で調達しています。

質問 何か要望は。

浅賀さん スクリーンなどが気軽に借用できればいいですね。

[取材 山田・高橋]

平成28年10月14日 発行
編集 西伊豆町議会 広報編集委員会
発行 静岡県西伊豆町議会
住所 〒410-3514 静岡県賀茂郡西伊豆町仁科401-1
TEL (0558) 52-1962 FAX (0558) 52-1906

【編集委員会より】

本号のご感想や議会に対するご意見・ご要望など、お気軽にお聞かせください。 TEL: 52-1962